

# 令和7年安曇野市議会12月定例会 一般質問3日目（12月9日）

## 令和7年安曇野市議会 12月定例会 代表質問日程

月日・開議時刻	発言順	会派名・発言者	通告時間
12月5日（金曜日） 午前10時  1会派3人	1	会派 アヅミライ 内 川 集 雄 一 志 信一郎 増 井 裕 壽	25分

## 令和7年安曇野市議会 12月定例会 一般質問日程

月日・開議時刻	発言順	発 言 者	通告時間
【1日目】 12月5日（金曜日） 代表質問終了後  6人	1	辻 谷 洋 一	20分
	2	中 村 芳 朗	20分
	3	林 孝 彦	20分
	4	一 志 信一郎	20分
	5	中 村 今朝子	20分
	6	野 部 知 江	20分
【2日目】 12月8日（月曜日） 午前10時  6人	7	高 橋 健	20分
	8	田 口 貞 夫	20分
	9	今 井 美智子	20分
	11	遠 藤 武 文	20分
	12	菊 池 久美子	20分
	13	臼 井 泰 彦	20分
【3日目】 12月9日（火曜日） 午前10時  5人	14	木 船 潤 一	20分
	15	吉 澤 茉 帆	20分
	16	丸 山 健 太	20分
	17	増 井 裕 壽	20分
	18	矢 澤 毅 彦	20分





提出順	11	発言順	14	令和 7 年 11 月 20 日
				午前・ <input checked="" type="checkbox"/> 後 1 時 37 分受領

( 7 枚中No.3 )

令和 7 年 11 月 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 木 船 潤 一

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	3;「教職員の働き方改革」という難題」		
質問の要旨 《質問 4》 過去20数年来で教員の業務量が非常に要求過多になった、または負担が大きくなってきた背景もしくは主な要因は何であったのかについてどのようなご認識ご見解をお持ちでしょうか。			

提出順	11	発言順	14	令和 7 年 11 月 20 日
				午前・午後 / 時 37 分受領

( 7 枚中No. 4 )

令和 7 年 11 月 20 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員

木 船 潤 一

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	3;「教員の働き方改革」という難題」		
質問の要旨 ≪質問5≫ 部長は今年 3 月 3 日の定例会において「安曇野市では、令和 7 年 2 月 1 日現在で、7 中学校のうち、運動部 58 部、文化部 18 部になりますけれども、このうち、運動部が 26 部、文化部 1 部が休日部活動への地域移行ができております。」と答弁されていますが、現在の進捗状況としてはどうなっているのでしょうか。 ≪質問 6≫ その後「各学校での取組の状況の違いにつきましては、地域によりまして指導者の確保に差が生じている状況がございます。」 ともお答えになっていますが、ほとんどこれから地域移行する吹奏楽部において、 ① 指導者の目途、 ② 楽器確保と管理、 ③ 会費など運営資金、 ④ 練習場所確保、 ⑤ 運営者確保    はそれぞれどうなっているのでしょうか。 ≪質問7≫ 部活動の地域展開(移行)のいったん停止を提案いたします。政府と他都道府県の動きをよく観察した上で当市により適した方法を整えてからの改めでの実施でも全く困ることはないのではないのでしょうか。			









提出順	13	発言順	15	令和 7 年 11 月 20 日
				午前・午後 3 時 3 分受領

( 1 枚中№ 1 )

令和 7 年 11 月 20 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員

吉 澤 茉 帆

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	妊娠期から産後にかけての生活支援の充実について。		

質問の要旨（具体的に記載してください）

妊娠期から産後にかけての相談支援やサービスはこれまでも充実が図られてきていますが、実際の生活の維持や変化への支援には、なお改善の余地があります。

特に第2子以降の場合は、妊娠中の健康管理や産後の母体の回復と同時に上の子の世話についても対応の必要があるにもかかわらず、0歳1歳は潜在的待機児童となりやすく、一時預かりやファミリーサポートを利用することとなります。これらの利用には予約・申請・支払いなどの手続きの手間と費用の負担があり、結果として入園の場合よりも妊産婦自身の身体的・精神的な負担が大きくなることが考えられます。

さらに、家事に対する支援体制は十分とは言えず、生活の基盤を整える支援が遅れています。母子の健康と福祉を支えるためにも、妊娠期から産後にかけての生活支援（託児・家事サポート）の充実は、子育てのしやすさを左右する重要な要素と考えます。

そこで以下について、うかがいます。

①安曇野市の子育て支援の現状と課題をお聞かせください。

②妊娠・出産を理由とした入園が叶わなかった場合、どのように案内や支援をしていますか？

③妊娠期から産後にかけての託児利用や家事支援に対して、費用助成や利用支援制度を設ける考えはありませんか。

提出順	15	発言順	16	令和 7 年 11 月 2 / 日
				(午前・午後 10 時 38 分受領)

( / 枚中No. / )

令和 7 年 11 月 2 / 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 丸 山 健 太

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	地域包括支援体制における中間支援の充実について		
<p>質問の要旨（具体的に記載してください）</p> <p>令和 6 年 3 月に示された安曇野市高齢者福祉計画及び第 9 期介護保険事業計画の重点方針である地域包括支援体制の充実についての現状と今後のビジョンを問う。</p> <p>●地域ケア会議を通して把握された課題から、地域の課題解決にむけた資源開発、政策形成につながった実例は。</p> <p>●生活支援体制整備事業の推進による地域づくりの現状と課題は。</p> <p>●支え合い事業体制整備補助金の活用状況と活動団体の活動内容と傾向、高齢者が担い手として活動する場の確保の状況は。</p> <p>●生活支援コーディネーターへのサポート体制の充実と、協議体において世代を超えて地域住民がともに支え合う地域づくり活動創出にあたっての支援、補助について。</p>			

提出順	17	発言順	17	令和 7 年 11 月 25 日
				午前・午後 9 時 8 分受領

( 4 枚中No. 1 )

令和 7 年 11 月 25 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 増 井 裕 壽

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	自転車観光のブランド化について		
質問の要旨（具体的に記載してください）  ・ 自転車を活用した観光ブランドの確立について ・ 初心者や家族連れが楽しめるサイクリング環境整備について ・ シェアサイクルとサイクルオアシスの利活用促進について ・ E-Bike 普及と充電インフラ整備について ・ デジタルを活用した観光プロモーションの強化について ・ 手荷物配送＝手ぶらサービス導入促進について ・ 自転車にやさしい宿の認定制度について ・ 自転車通勤・環境負荷軽減と企業連携について			



提出順	17	発言順	17	令和 7 年 11 月 25 日
				午前・午後 9 時 8 分受領

(4 枚中No. 3)

令和 7 年 11 月 25 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 増井 裕 壽

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	通学路の危険箇所への対応について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

- ・穂高北小学校区の通学路について
- ・学校施設周辺の安全確保について
- ・県道 316 号梓橋田沢停車場線の横断歩道について

提出順	17	発言順	17	令和 7 年 11 月 25 日
				午前・午後 9 時 8 分受領

( 4 枚中No. 4 )

令和 7 年 11 月 25 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員

増 井

裕 壽

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	激励金制度の格差是正と対象拡大に向けた見直し方針について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

- ・ 激励金制度の格差是正と対象拡大に向けた見直し方針について

提出順	12	発言順	18	令和 7 年 11 月 20 日
				午前・午後 2 時 17 分受領

( 3 枚中No. 1 )

令和 7 年 11 月 20 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 矢 澤 毅 彦

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	合併・市制施行 20 年 歩みをこれからのまちづくりに生かす		

質問の要旨（具体的に記載してください）

本年、市制施行から 20 年という大きな節目を迎えた。この間の人口動態や財政状況、公共施設、行政サービス、産業・観光等の推移は、本市の変遷そのものである。これら 20 年間の変化を整理・検証し、合併の成果と課題、地域間の状況変化を総括することは、次の時代のまちづくりを構想する上で不可欠である。

新たな記念誌等の作成を求めるものではなく、既存の統計や資料をもとに客観的な総括を行い、市民と共有するとともに、その結果を今後の総合計画等、今後 10 年、20 年のまちづくりにどう生かしていくのか、市の見解を問う。

●市制施行 20 年の節目における「20 年の総括」の実施について

提出順	12	発言順	18	令和 7 年 11 月 20 日
				午前・ <del>午後</del> 2 時 17 分受領

( 3 枚中No. 2 )

令和 7 年 11 月 20 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員

矢 澤 毅 彦

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	ダメごみ対策を前へ 集合住宅の集積所整備とルールづくり		
質問の要旨（具体的に記載してください）  いわゆる「ダメごみ」の問題については、昨年的一般質問においても取り上げ、実態把握や対策の必要性が示されたところである。その後に行ってきた具体的な取組状況とその効果、現在の課題について確認する。 また、管理主体が不明確になりがちな集合住宅等においては、マナー啓発だけでは解決が難しい側面がある。敷地内へのごみ集積所設置に対する補助制度の創設や、新築・改修時における設置の義務化など、管理者や居住者と連携した実効性ある仕組みづくりが必要と考えるが、市の見解を問う。  ●前回質問以降に行ってきたダメごみの実態把握の取組状況と、現在の課題認識について ●ダメごみの発生要因の分析および、これまでの啓発・指導等の対策内容とその効果、今後の取組方針について ●集合住宅等におけるごみ集積所の整備に係る補助制度の創設や、新築・改修時の設置義務化等の仕組みづくりについて			



提出順	12	発言順	18	令和 7 年 11 月 20 日
				午前・午後 2 時 17 分受領

( 3 枚中No. 3 )

令和 7 年 11 月 20 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員

矢 澤 毅 彦

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	子どもを安心して預けられるまちへ「一時預かり事業」と「こども誰でも通園制度」		
質問の要旨（具体的に記載してください）  子育て世帯の多様なニーズに対応する一時預かり事業は、重要な子育て支援の基盤である。しかし、予約方法の柔軟性、園ごとの運用の違い、物品準備や利用料支払いの利便性など、利用者の目線に立った改善が必要な課題が見受けられる。これらについて、市の現状認識と改善の考えを問う。 また、来年4月から本格実施される「こども誰でも通園制度」との明確な役割分担、両制度間における手続きの共通化や負担軽減策を講じることで、制度の狭間を生まない切れ目のない支援体制の構築を求める。  ● 予約期間の見直しと、より柔軟な予約システムの導入について ● 予約締め切り後の空き枠を公表・案内することによる有効活用について ● 物品のリース化と運用の統一による保護者負担の軽減について ● 一時預かり利用料金におけるキャッシュレス決済導入について ● 「こども誰でも通園制度」の実施方針と制度の概要について ● 両制度の役割分担・位置付けおよび制度の狭間を生まない体制づくりについて ● 両制度間における登録・面談プロセスの共通化の検討について ● 「こども誰でも通園制度」における必要物品のリース化・園側での用意について			